

1. 入学前の既修得単位の認定について（編入生・転科生）

本学入学前に通っていた大学・短期大学（専門学校を除く）において修得した単位を本学で認定する方法は、入試種別によって異なります。ここでは、編入学選抜、転科試験を受験して入学する方を対象とした既修得単位の認定の申請方法を説明しています。一般選抜・総合型選抜・外国人留学生特別選抜・帰国生特別選抜を受験した方については、「入学前の既修得単位の認定について」掲載のPDFを確認してください。

(1) 編入生の場合

●認定単位について

①2年次編入学選抜

(1) 一括単位認定

編入学の際、50単位が一括認定されます。編入後に修得が必要な単位数は、「2年次編入生の既修得単位認定」の表を確認してください。

(2) 個別単位認定

一括単位認定に加えて、編入学以前の単位修得状況によっては、12単位を上限として個別に単位を認定します。個別単位認定の条件等は以下の通りです。

- ・個別単位認定は、編入学時のみ申請できます。下記期限を過ぎた場合は一切認定しませんので、注意してください。
- ・編入学以前に修得した単位数のうち、一括認定する50単位を除いた数より、12単位を限度として認定します。
- ・個別単位認定は授業科目区分ごとに認定（算入）します。
- ・個別単位認定は、短期大学および4年制大学で修得した単位を認定するものであり、高等専門学校や専修学校で修得した単位は、認定の対象ではありません。

②3年次編入学選抜

(1) 一括単位認定

編入学の際、62単位は一括認定されます。編入後に修得が必要な単位数は、「3年次編入生の既修得単位認定」の表を確認してください。

(2) 個別単位認定

一括単位認定に加えて、編入学以前の単位修得状況によっては、14単位を上限として個別に単位を認定します。個別単位認定の条件等は以下の通りです。

- ・個別単位認定は、編入学時のみ申請できます。下記期限を過ぎた場合は一切認定しませんので、注意してください。
- ・編入学以前に修得した単位数のうち、一括認定する62単位を除いた数より、14単位を限度として認定します。
- ・個別単位認定は授業科目区分ごとに認定（算入）します。
- ・個別単位認定は、短期大学および4年制大学で修得した単位を認定するものであり、高等専門学校や専修学校で修得した単位は、認定の対象ではありません。

●**提出が必要な書類** 下記書類を他の入学手続き書類とは別封筒で下記提出先へ郵送してください。

(1) 成績証明書（62単位以上を修得したことを証明するもの）【**全員提出**】

※日本語か英語以外の言語で記載されている場合は、公的機関で証明を受けた日本語もしくは英語の翻訳を添付して、提出してください。

(2)2024年度個別単位認定申込書（編入生用）(様式はこちら) 【**個別単位認定の希望者のみ**】

(3)成績証明書の発行が間に合わない場合は成績通知書などの単位取得科目がわかる書類を期日までに提出し、成績証明書は入手でき次第速やかに送付してください。成績証明書の提出が4月1日（月）以降となる場合は、直接、1号館2階教務チーム窓口にお持ちください。ただし、提出が4月1日（月）以降となる場合は、以下(4)の日程で個別単位認定の審査の結果をお知らせすることできず、履修登録期間内に個別単位認定の審査の結果を確認することはできませんのでご注意ください。

(4)個別単位認定の審査の結果として、「個別単位認定通知書」を、

2024年4月10日（水）※予定より1号館2階教務チーム窓口にて配付します。学生証を持参して必ず受け取ってください。

<送付先・提出先>

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

武蔵野美術大学 教務チーム 授業担当

提出期限：2024年3月2日（土）必着

2年次編入生の
既修得単位認定

編入学前に修得した単位の認定と、編入学後に修得すべき単位

本学の教育課程における 授業科目区分	日本画学科				油絵学科 (油絵専攻・グラフィックアーツ専攻)			
	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修 状況を見て、本学の科目 区分に沿って個別に認定)	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修 状況を見て、本学の科目 区分に沿って個別に認定)
文化総合Ⅰ類科目 (教養、言語、身体、造形)	24	12	12	0~12	24	12	12	0~12
文化総合Ⅱ類科目 (教養、言語、身体、造形)	16	8	8	0~8	16	8	8	0~8
文化総合Ⅰ類 またはⅡ類科目 (教養、言語、身体、造形)	10	4	6	0~6	10	4	6	0~6
造形総合Ⅰ類科目	6	4	2	—	6	4	2	—
造形総合Ⅱ類科目	2	0	2	—	2	0	2	—
学科別科目、卒業制作	44	9	35	—	44	10	34	—
自由選択枠	22	13	9	0~9	22	12	10	0~10
合計	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで

本学の教育課程における 授業科目区分	彫刻学科				視覚伝達デザイン学科 建築学科			
	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修 状況を見て、本学の科目 区分に沿って個別に認定)	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修 状況を見て、本学の科目 区分に沿って個別に認定)
文化総合Ⅰ類科目 (教養、言語、身体、造形)	24	12	12	0~12	24	12	12	0~12
文化総合Ⅱ類科目 (教養、言語、身体、造形)	16	8	8	0~8	16	8	8	0~8
文化総合Ⅰ類 またはⅡ類科目 (教養、言語、身体、造形)	10	4	6	0~6	—	—	—	—
造形総合Ⅰ類科目	6	6	—	—	6	6	—	—
造形総合Ⅱ類科目	2	0	2	—	2	0	2	—
学科別科目、卒業制作	44	8	36	—	54	12	42	—
自由選択枠	22	12	10	0~10	22	12	10	0~10
合計	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで

本学の教育課程における 授業科目区分	工芸工業デザイン学科				芸術文化学科			
	卒業に 必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修 状況を見て、本学の科目区 分に沿って個別に認定)	卒業に 必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えて さらに認定できる個別単 位認定の単位数 (各人の編入学前の学修状 況を見て、本学の科目区分 に沿って個別に認定)
文化総合Ⅰ類科目 (教養、言語、身体、造形)	24	12	12	0~12	24	12	12	0~12
文化総合Ⅱ類科目 (教養、言語、身体、造形)	16	8	8	0~8	16	8	8	0~8
文化総合Ⅰ類 またはⅡ類科目 (教養、言語、身体、造形)	—	—	—	—	—	—	—	—
造形総合Ⅰ類科目	6	4	2	—	6	6	—	—
造形総合Ⅱ類科目	2	0	2	—	2	0	2	—
学科別科目、卒業制作	54	12	42	—	54	10	44	—
自由選択枠	22	14	8	0~8	22	14	8	0~8
合計	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで

本学の教育課程における 授業科目区分	デザイン情報学科			
	卒業に 必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	一括認定単位数を超えてさ らに認定できる個別単位認 定の単位数 (各人の編入学前の学修状 況を見て、本学の科目区分 に沿って個別に認定)
文化総合Ⅰ類科目 (教養、言語、身体、造形)	24	12	12	0~12
文化総合Ⅱ類科目 (教養、言語、身体、造形)	16	8	8	0~8
文化総合Ⅰ類 またはⅡ類科目 (教養、言語、身体、造形)	—	—	—	—
造形総合Ⅰ類科目	6	6	—	—
造形総合Ⅱ類科目	2	0	2	—
学科別科目、卒業制作	54	12	42	—
自由選択枠	22	12	10	0~12
合計	124	50	74	編入学前の既修得単位の 範囲内で12単位まで

**3年次編入生の
既修得単位認定**

【造形学部】

編入前に修得した単位の認定と、編入学後の修得すべき単位

本学の教育課程における 授業科目区分	日本画学科 油絵学科 (油絵専攻・版画専攻) 彫刻学科			視覚伝達デザイン学科 工芸工業デザイン学科 空間演出デザイン学科 建築学科 基礎デザイン学科 芸術文化学科 デザイン情報学科			【全学科共通】 一括認定単位数を超えてさら に認定できる個別単位認 定の単位数 (各人の編入学前の学修状況 を見て、本学の科目区分に 沿って個別に認定)
	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	
文化総合Ⅰ類科目 (教養、言語、身体、造形)	24	12	12	24	12	12	0~12
文化総合Ⅱ類科目 (教養、言語、身体、造形)	16	8	8	16	8	8	0~8
文化総合Ⅰ類 またはⅡ類科目 (教養、言語、身体、造形)	10	4	6	—	—	—	0~6
造形総合Ⅰ類科目	6	6	—	6	6	—	—
造形総合Ⅱ類科目	2	2	—	2	2	—	—
学科別科目、卒業制作	44	20	24	54	24	30	—
自由選択枠	22	10	12	22	10	12	0~12
合計	124	62	62	124	62	62	編入学前の既修得単位の範囲 内で12単位まで

【造形構想学部】

編入前に修得した単位の認定と、編入学後の修得すべき単位

本学の教育課程における 授業科目区分	クリエイティブイノベーション学科			映像学科			【全学科共通】 一括認定単位数を超えてさら に認定できる個別単位認 定の単位数 (各人の編入学前の学修状況 を見て、本学の科目区分に 沿って個別に認定)
	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	卒業に必要な 単位数	一括認定 単位数	編入学後に 修得すべき 単位数	
全学共通科目	14	10	4	40	20	20	0~12
造形構想基盤科目	18	18	—	36	12	2	
専門基礎科目	39	34	5		18	4	
専門領域別科目	11	0	11	8	0	8	0~12
専門総合科目	20	0	20	16	0	16	
自由選択枠	22	0	22	24	12	12	
合計	124	62	62	124	62	62	編入学前の既修得単位の範囲 内で14単位まで

(2) 転科生の場合

転科・転専攻前の修得単位は、授業科目区分ごとに認定（算入）します。

文化総合科目Ⅰ類、Ⅱ類および造形総合科目Ⅱ類は、原則としてすべてを認定し、転科後の学科でも継続して卒業所要単位に含めることができます。しかし、転科前／後の単位構成上の差異から修得単位数をすべて認定できないことがあり、転科後に不足単位数が増える場合があります。

転科後に修得すべき単位数については、個別の「単位認定通知書」に記載し通知します。2024年4月10日（水）※予定より、1号館2階教務チーム窓口にて配付しますので、学生証を持参して、必ず受け取ってください。